

学生と協力 啓発ブース設置

④ 大津市選管 図書館に



選挙啓発ブースを設置する生徒たち＝大津市立図書館で

大津市選管は参院選が公示された3日、投票率向上を目指し、高校生や大学生と協力して同市浜大津の市立図書館に選挙啓発ブースを設置した。

投票率が低い若年層を中心に投票を呼びかけるため、市選管は2024年、市選挙啓発サポーターを立ち上げた。市内の学校や企業など25団体が参加し、啓発活動に協力している。

これまでの活動では、滋賀短大付属高校と比叡山高校の生徒が、明るい選挙のイメージキャラクター「めいすいくん」の当地区版を作成。大津祭や大津絵、三井の晩鐘などを取り入れた4体をデザインした。

ブースの設置には、滋賀短大の学生3人と、滋賀短大付属高校の生徒8人が参加。実物の投票箱や記載台を置き、4体の当地区めいすいくんから1体を選んで実際に投票できるようにした。市内の投票率の推移を示すポスターや選挙関連の書籍も並べた。

参加した高校2年の小松萌さん(16)は「子どもでも気軽に投票が体験できるの、将来的に若い人の投票につながってくれたら」と期待し、「自分がどんな社会にしたいのかを伝えたい。18歳になったら投票に行くと話した。」

市選管の担当者は「高校生や大学生と一緒に啓発活動をして裾野を広げ、投票率向上につなげたい」と話した。(加藤源太郎)

⑥ 自民が先行、国・参追う

滋賀 (改選1)

滋賀選挙区は、自民新人平候補が続く。支持政党別にみると、自民、公明支持層は宮本候補でまとまりつつある。国民支持層は堀江候補で一定固まり、参政支持層は9割超が中田候補で固まる。維新支持層は半数が岡屋候補で追う。維新新人の岡屋京佑候補、共産新人の佐藤隆一候補。

◇滋賀選挙区

(17) 22年自 19年無
届け出順

佐藤 耕平	43	党県委員	共 新
中田 あい	46	内装業	参 新
宮本 和宏	53	元守山市長	自 新(公)
堀江 明	38	団体役員	国 新
岡屋 京佑	32	元新聞記者	維 新
菅原 良雄	47	警備員	諸 新
藤井 隆一	60	元小学校教諭	諸 新

また、参院選では、投票先を決めていない人も目立つ。共産支持層は8割超が佐藤候補でまとまっている。

選挙区に候補を擁立してない立民支持層は、3割弱が堀江候補に集まる一方、4割近くが投票先を決めておらず、一部は岡屋候補、佐藤候補にも流れる。

無党派層は支持が割れており、5割近くは投票先を決めていない。

が比較的高い。

地域別では、大津市では堀江候補、県東部では中田候補の支持がそれぞれ比較的高く、宮本候補は大津市以外も広く浸透している。

諸派新人の藤井隆一候補と諸派新人の菅原良雄候補は支持に広がりを見せている。

期日前 貴重な一票投じる

⑤ 県内各市町でスタート

参院選 2025

各市区でスタートした。

大津市選管では、市役所新館1階ロビーに期日前投票所を開設。朝から有権者が次々と訪れ、一票を投じていた。

この期日前投票所は投票日前日の19日まで、午前8時半～午後8時に開設される。

11月19日には、アル・プラザ堅田(3階、本堅田)や平和堂堅田本店(1階、坂本)などの商業施設をはじめ、本戸支所(本戸)と膳所支所(本丸町)にも期日前投票所が設けられる。

開設時間は商業施設が午前10時～午後8時(最終日のみ午後7時まで)、支所が午前9時～午後8時。担当者は「ぜひ貴重な一票を投じてほしい」と呼びかける。

大津市の期日前投票所で投票用紙を受け取る有権者。市役所新館1階ロビー

